

「天の川をめぐる星座(5) ~とかげ座」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

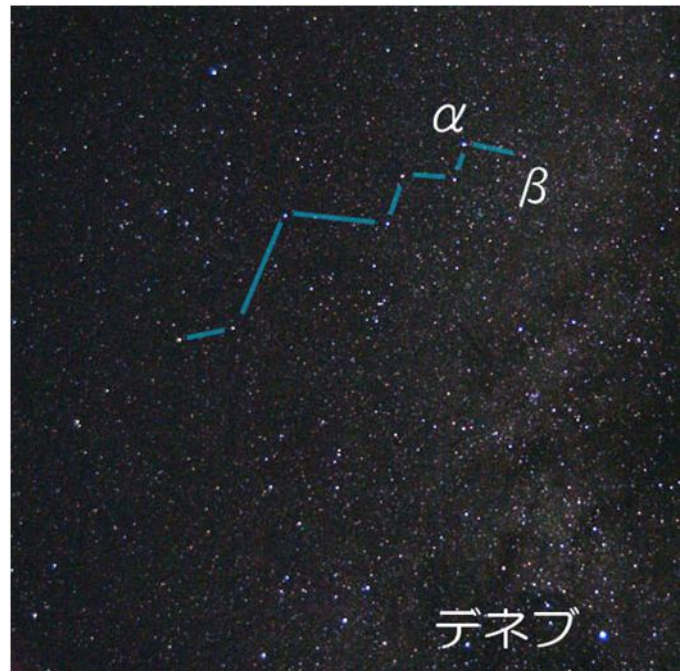
天の川は、カシオペア付近の北天を通過している。このあたりの天の川は、銀河の中心からはずれているので、南天のいて座付近ほど鮮やかではない。しかし、カシオペアに架かる淡い光芒は、実に美しい。



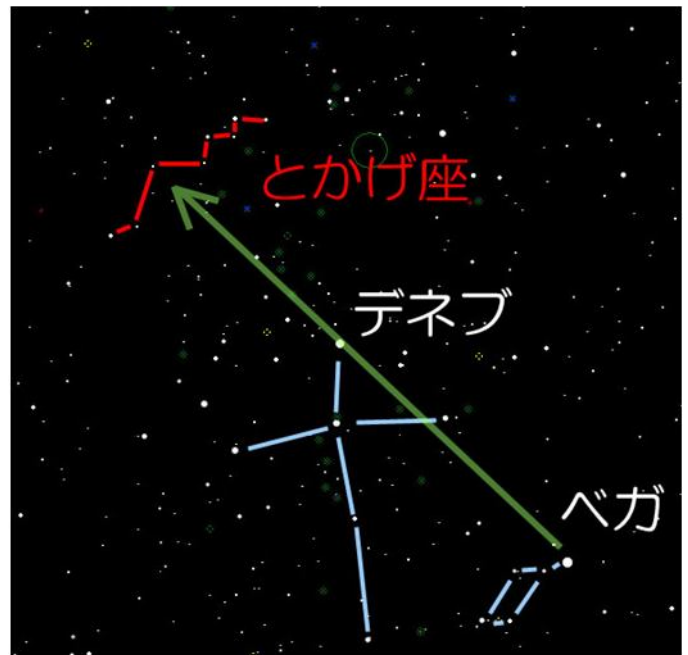
カシオペアが、北天で一番高く昇ると(つまり地平線から遠い位置にあると)、M字型に見える。そのカシオペアから、天の川を左にたどると、もう一つの小さなM字型の星の並びが見つかる。



これが「とかげ座」である。私は「ミニカシオペア」と呼んでいる。爬虫類で星座になっているのは、とかげ座以外にも、カメレオン座、へび座などがある。



とかげ座は美しい星の並びをしているが、明るい星がなく地味な星座である。新参者なので、「カシオペア姫の靴の中に隠れていたトカゲ」といった神話も存在しない。また、天の川に近いので、恒星が密集していて、慣れないとなかなか見つけられない。



ごく簡単な見つけ方としては、ベガとデネブを結んだ線を、ほぼ同じ長さ延長する、という方法だ。私はいつもこの方法で見つけている。皆さんも、初秋の星空で「天空のトカゲ」を捕まえてみてほしい。